

学園内 予実管理ソフトウェア



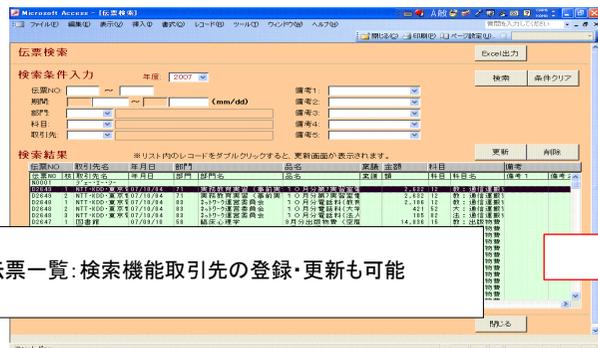
エラーやメンテナンスに多大な労力を割いていた旧システムを改善するために、開発されたソフトウェア

■ 導入前

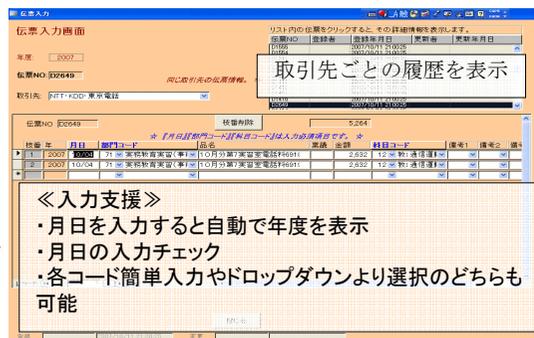
- **運用方法が難しい**ソフトウェアで、マニュアルもなかったため、使用が困難だった。
- 単純なエラー修正をすると、別のところにも影響があり**拡張性が乏**しかった。
- プログラム修正のため、開発者本人の現場作業による方法しかなく、その都度**パソコン業務が止まって**しまっていた。
- 年度ごとの新たなデータ作成のために、**一日を費やす作業**で、前年度データ保持もとても大変だった。
- 紙に出力される予実管理表の、学内全部門への**配布が、一日がかり作業**だった。

■ 導入後

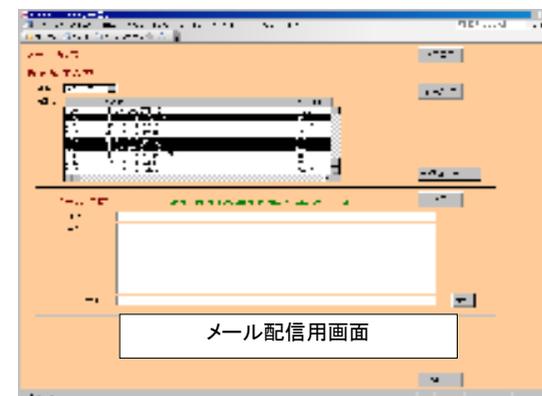
- 検索や入力支援が充実していて、マニュアルがなくても**すぐに運用**できた。
- 年度処理も組み込まれたソフトとなり、担当者により**ボタン一つで可能**となった。
- 作成される電子ファイルの予実管理表を、各部門へ電子メールにて配信できるようになり、**作業時間が1/10**となった。
- プログラムの修正や機能の追加もソフト部分の入替えのみですむため、**メンテナンスがスムーズ**になった。



伝票一覧：検索機能取引先の登録・更新も可能



「入力支援」
・月日を入力すると自動で年度を表示
・月日の入力チェック
・各コード簡単入力やドロップダウンより選択のどちらも可能



メール配信用画面